

令和7年度 予算のお知らせ

引き続き皆様の 健康増進疾病予防に努めます

ジャヴァグループ健康保険組合の令和7年度の予算案が、去る2月19日開催の第65回組合会において可決承認されましたので、その概要をお知らせします。

当健保組合の令和7年度の予算総額は4億1,658万3千円となり、経常収支差引額は6,583万3千円の赤字を計上しました。

健保財政の収入の柱となる保険料収入は、社員数の減少や賞与の減額などにより減少傾向にあります。また、支出面では、保険給付費は減少を見込んでいますが、高齢者医療への拠出金は約2倍と大幅に増加することから、健保財政は今後も厳しい状況が続くと考えられます。

さて、昨年の国内出生数は70万人を割り込み、過去最低を更新する見込みとなりました。一方で、高齢者人口は団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年に向け、さらなる増加が予測されています。このような人口構造の変化を受け、政府は「給付は高齢者中心、負担は現役世代中心」というこれまでの構造から、年齢に関わりなくすべての世代が能力に応じて支え合う持続可能な社会保障制度への転換を目指し、さまざまな改革を検討しています。

昨年12月2日より健康保険証の新規発行が終了

し、医療機関等へはマイナンバーカードを保険証利用登録した「マイナ保険証」で受診することが基本となりました。マイナ保険証には、データに基づく質の高い医療の提供や、手続きなしで高額療養費の限度額を超える支払いが免除されるなど、高い利便性があります。従来の保険証についても今年12月1日までは利用可能ですが、マイナ保険証を未取得の方は、お早めに手続きいただけますようお願いいたします。

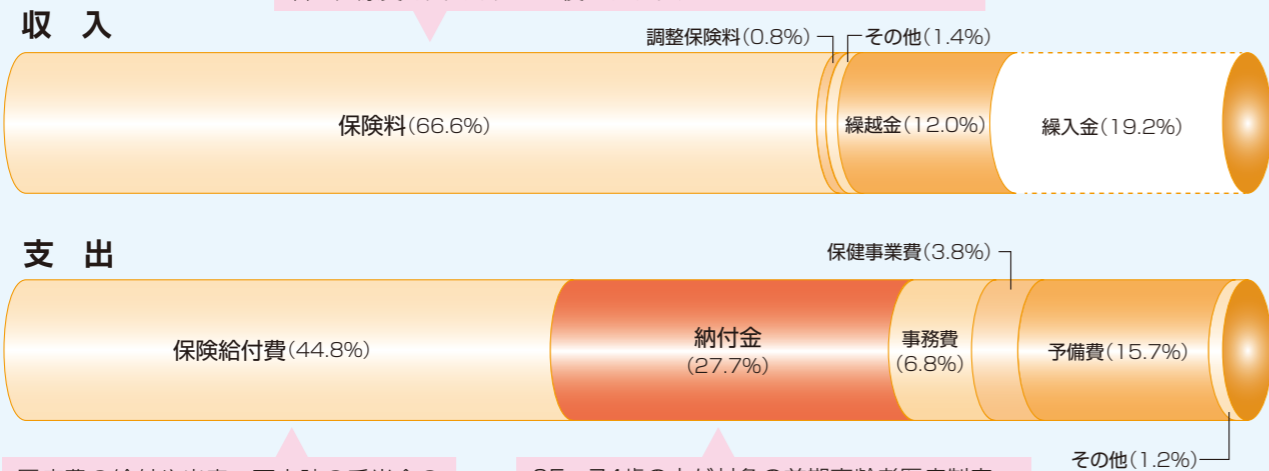
当健保組合は、加入者の皆さまの健康の保持増進を支えるため、今年度も効果的な保健事業を展開してまいります。併せて、より健全な財政運営に向けた医療費の適正化、経費節減にも取り組んでまいります。

皆さまにおかれましても、各種保健事業を積極的にご活用いただき、日々の健康管理にお役立てください。また、ジェネリック医薬品の選択など、医療費の節減につながる取り組みにも引き続きご協力いただけますようお願いいたします。

令和7年度 収入支出予算概要

健康保険分 収入と支出の割合

毎月の給与と賞与から納めていただく健保組合の主要財源です。「基本保険料」は皆さまの医療費などに使われ、「特定保険料」は高齢者の医療費を支えるために使われます。



医療費の給付や出産、死亡時の手当金の給付などをするための費用です。

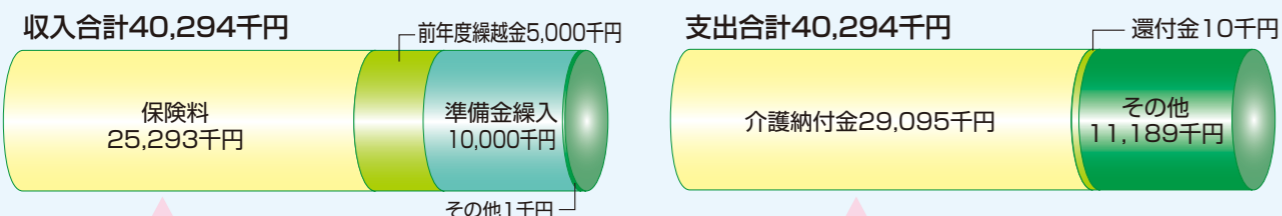
65~74歳の方が対象の前期高齢者医療制度への納付金と、75歳以上の方が対象の後期高齢者医療制度への支援金などです。

収入 (千円)			
	経常	保険料収入	277,621
		利子収入	1,090
		その他の収入	2,685
	経常外	調整保険料収入	3,182
		前年度繰越金	50,000
		別途積立金繰入	80,000
		その他の収入	2,005
	合計		416,583
	経常収入合計		281,396

支出 (千円)			
	経常	事務費	28,327
		保険給付費	186,674
		納付金	115,126
	経常外	保健事業費	15,792
		その他の支出	860
		財政調整事業拠出金	3,182
		その他の支出	1,002
	予備費(残金)		65,620
	合計		416,583
	経常支出合計		346,779
経常収支		-65,383	

経常収入合計 281,396 千円 - 経常支出合計 346,779 千円 = 経常収支差引額 ▲65,383 千円

介護保険分



40~64歳の被保険者が負担している介護保険の保険料です。



市区町村に介護保険の財源として配分するために健保組合が負担する納付金です。



保険料率について

●健康保険料率(90/1000)、介護保険料率(14.0/1000)とも据え置きとなります。

健康保険の保険料収入につきましては社員数の減少や賞与の減額などにより、保険料収入が年々減少していますが、健康保険料率は据え置きます。しかし、今後は高齢者医療への拠出金のさらなる増加が見込まれますので、検討が必要となります。介護保険は準備金が確保できていますので、介護保険料率を抑えた状況でも十分にカバーできます。

